4章 安心・安全

1節 携帯電話のマナー

自身の行動，他者の気になる行動

ポイント

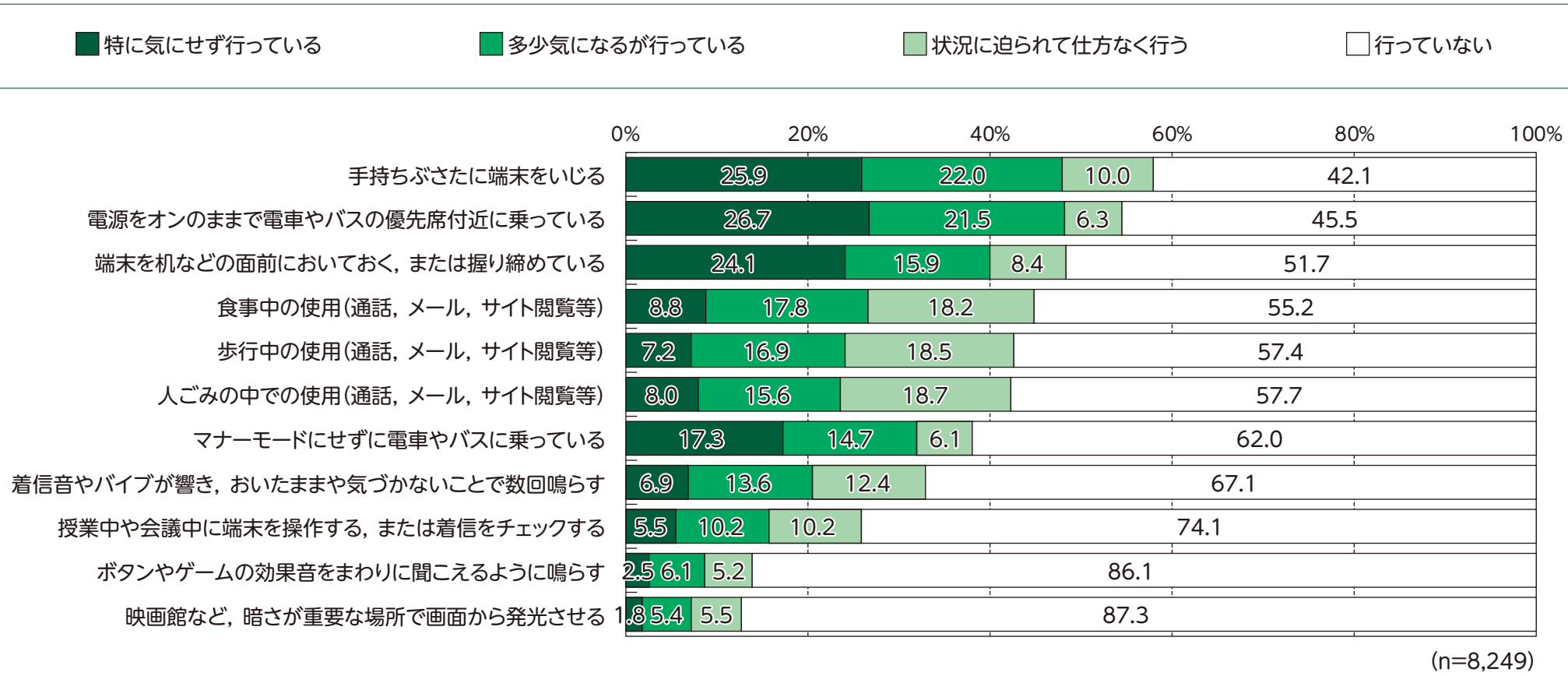
- 「歩行中の利用」「食事中の利用」は，30代以下で携帯電話利用者の過半数が行っている（資料4-2，資料4-3）。
- 他者が携帯電話を使って「歩行中の利用」「食事中の利用」をしていることを，50代以上の4～5割が「気になる」と回答（資料4-5，資料4-6）。

[資料4-1] 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動（単一回答） …… 53
[資料4-2] 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動 ―歩行中の使用―[年代別]（単一回答） …… 54
[資料4-3] 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動 ―食事中の使用―[年代別]（単一回答） …… 55
[資料4-4] 他者が携帯電話を使って行っている行動で気になること（単一回答） …… 56
[資料4-5] 他者の歩行中の携帯電話の利用が気になるか[年代別]（単一回答） …… 57
[資料4-6] 他者の食事中の携帯電話の利用が気になるか[年代別]（単一回答） …… 58

4章1節
資料4-1

自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動(単一回答)

● 4割以上の人は「食事中」「歩行中」「人ごみの中」での携帯電話の使用を行っている。



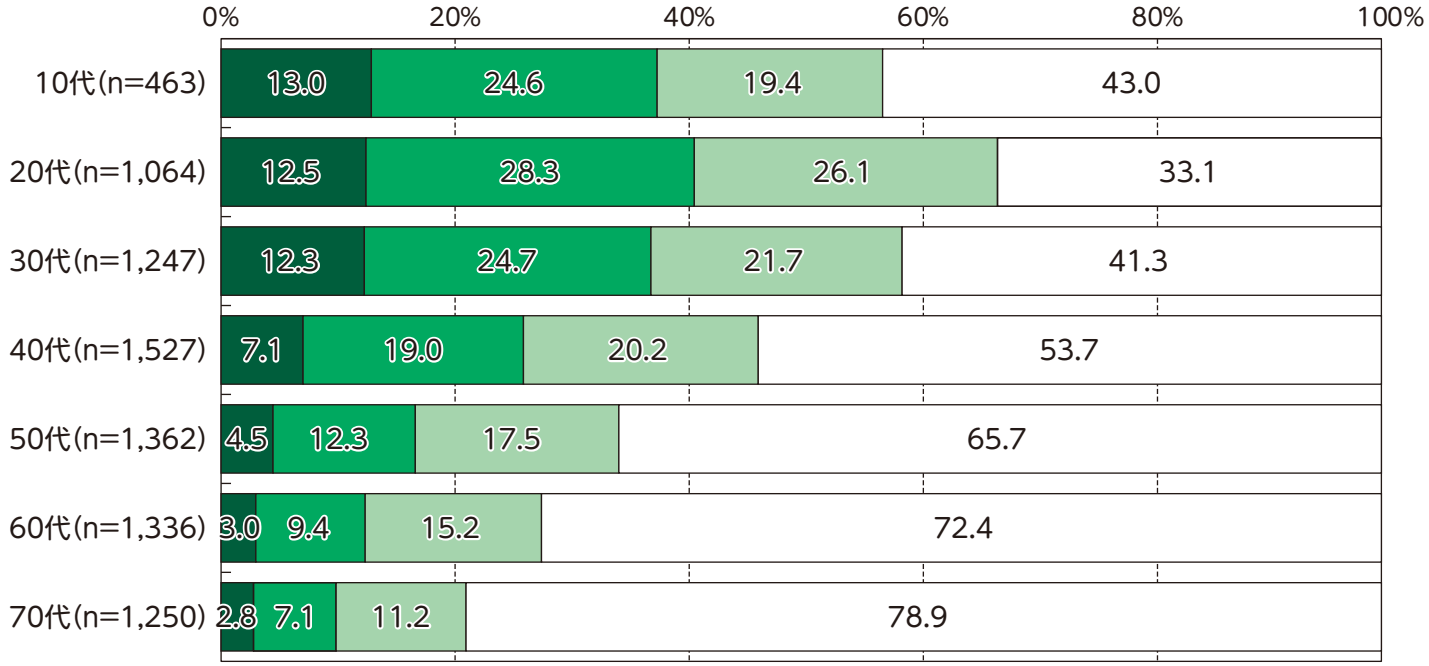
(n=8,249)

注: 携帯電話所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章1節
資料4-2

自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動―歩行中の使用―[年代別](単一回答)

- 歩行中の携帯電話の使用は10～30代が高く，6割程度が実施し，「気にせず行う」方も1割程度。
- 40代以上は年代が上がるにつれて「歩行中の使用」は少なくなり，「気にせず行う」の割合は5%程度。

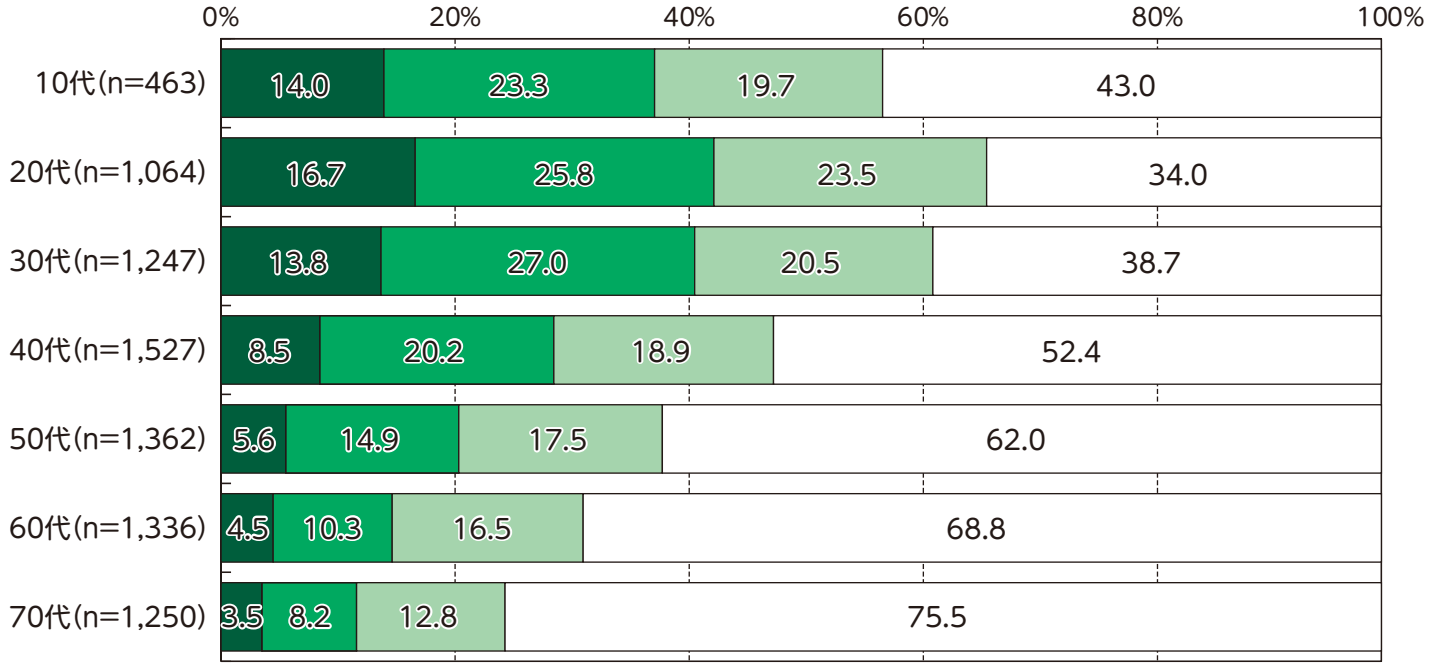


注: 携帯電話所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章1節
資料4-3

自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動―食事中の使用―[年代別](単一回答)

- 歩行中の使用と同様，食事中の携帯電話の使用も10～30代が高い。また「気にせず行う」の割合も1割強で40代以上の年代と比較して高い。
- 40代以降は年代が上がるにつれて使用する方の割合が減少。



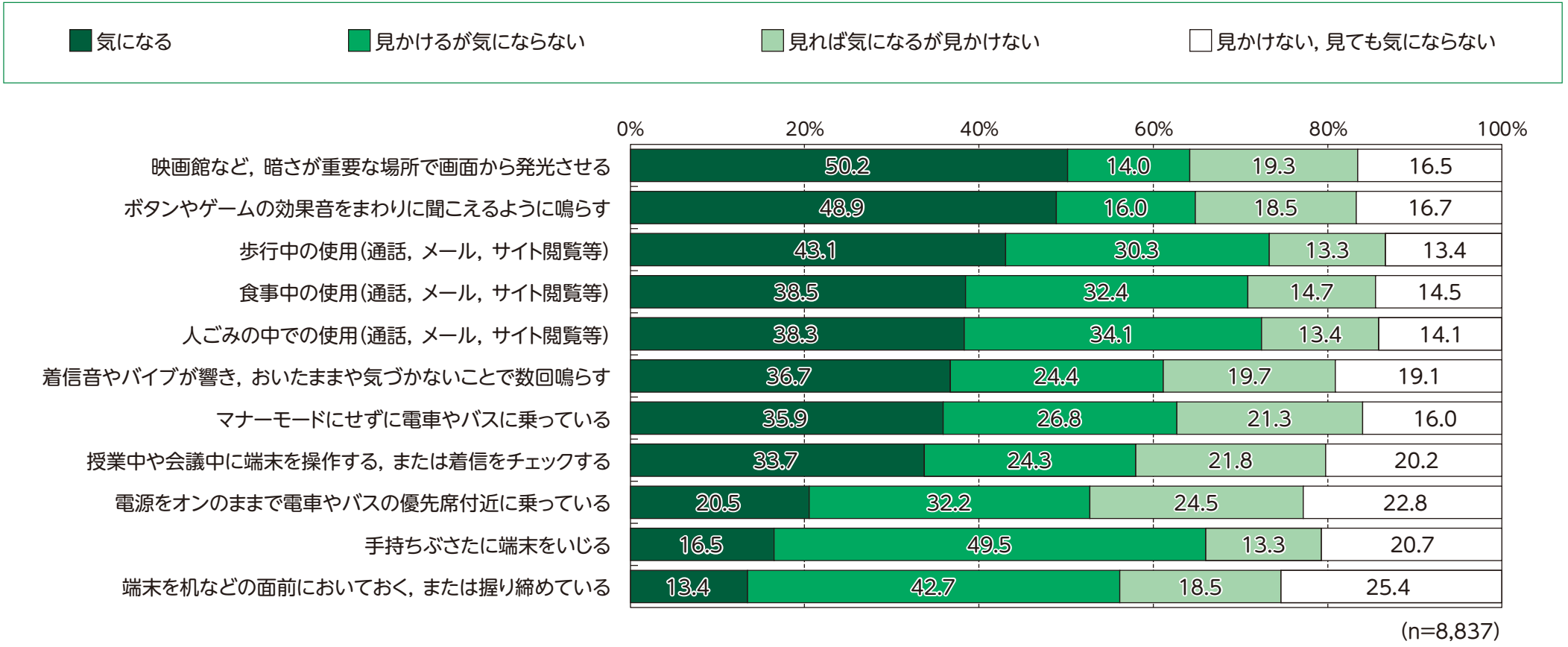
注: 携帯電話所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章1節

資料4-4

他者が携帯電話を使って行っている行動で気になること(単一回答)

- 音や光に関する事項については，5割程度が「気になる」と回答。
- 一方，「端末を面前におく」「手持ちぶさたに端末をいじる」は「見かけるが気にならない」が4〜5割程度となる。



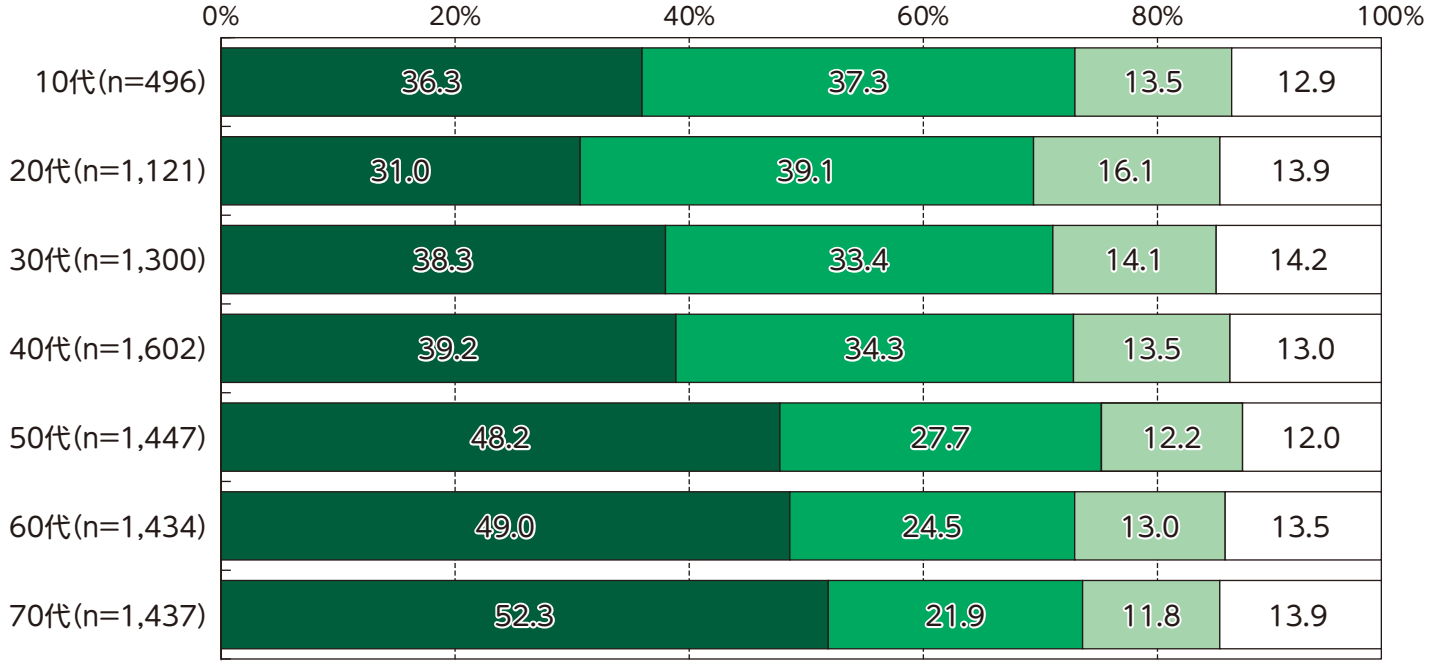
(n=8,837)

出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章1節
資料4-5

他者の歩行中の携帯電話の利用が気になるか[年代別](単一回答)

● 年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり，50代以上は約半数が「気になる」と回答。

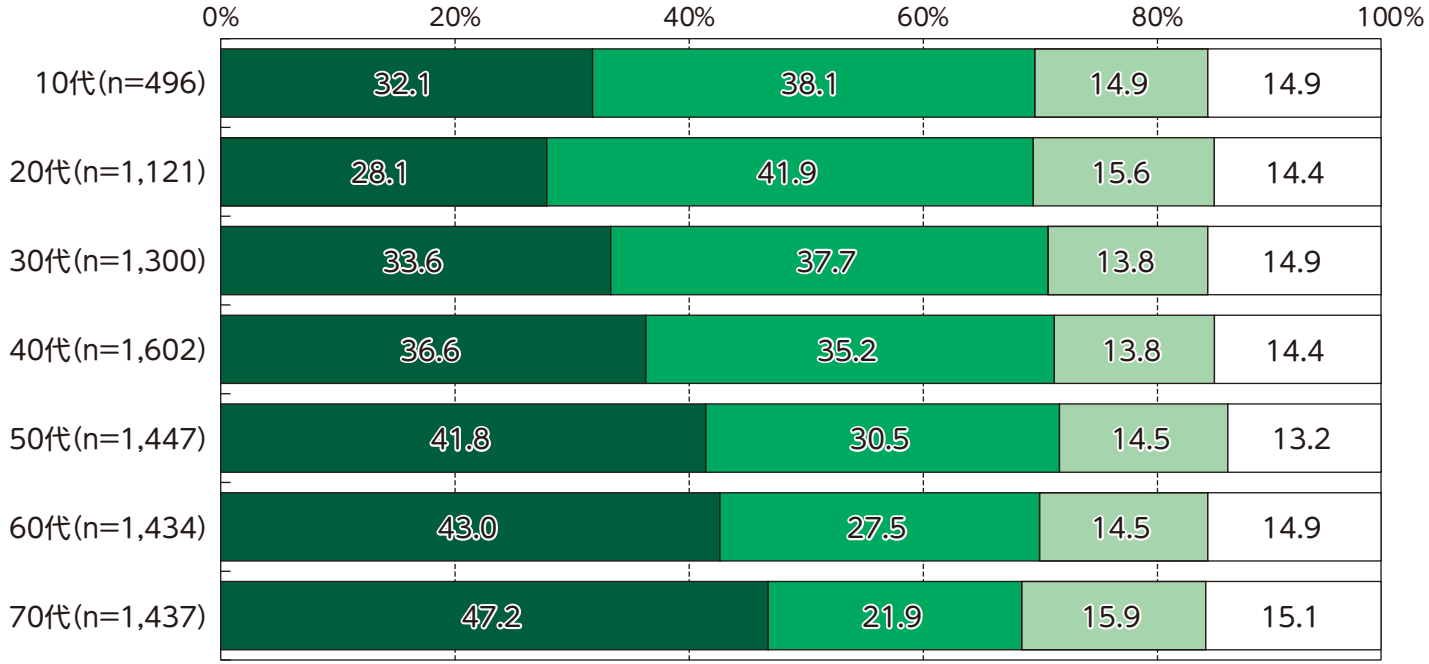


出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章1節
資料4-6

他者の食事中の携帯電話の利用が気になるか[年代別](単一回答)

● 年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり，50代以上はおおよそ4割以上が「気になる」と回答。



出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章 安心・安全

2節 携帯電話のセキュリティ対策

セキュリティ対策内容，18歳未満のフィルタリング設定率

ポイント

- 携帯電話利用者の約2割がセキュリティ対策をしておらず，その割合は70代になると3割半ばに拡大(資料4-7，資料4-8)。
- 18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率は微増傾向で2021年では3割半ばが実施(資料4-9)。

[資料4-7] 携帯電話へのセキュリティ対策(複数回答) …… 60

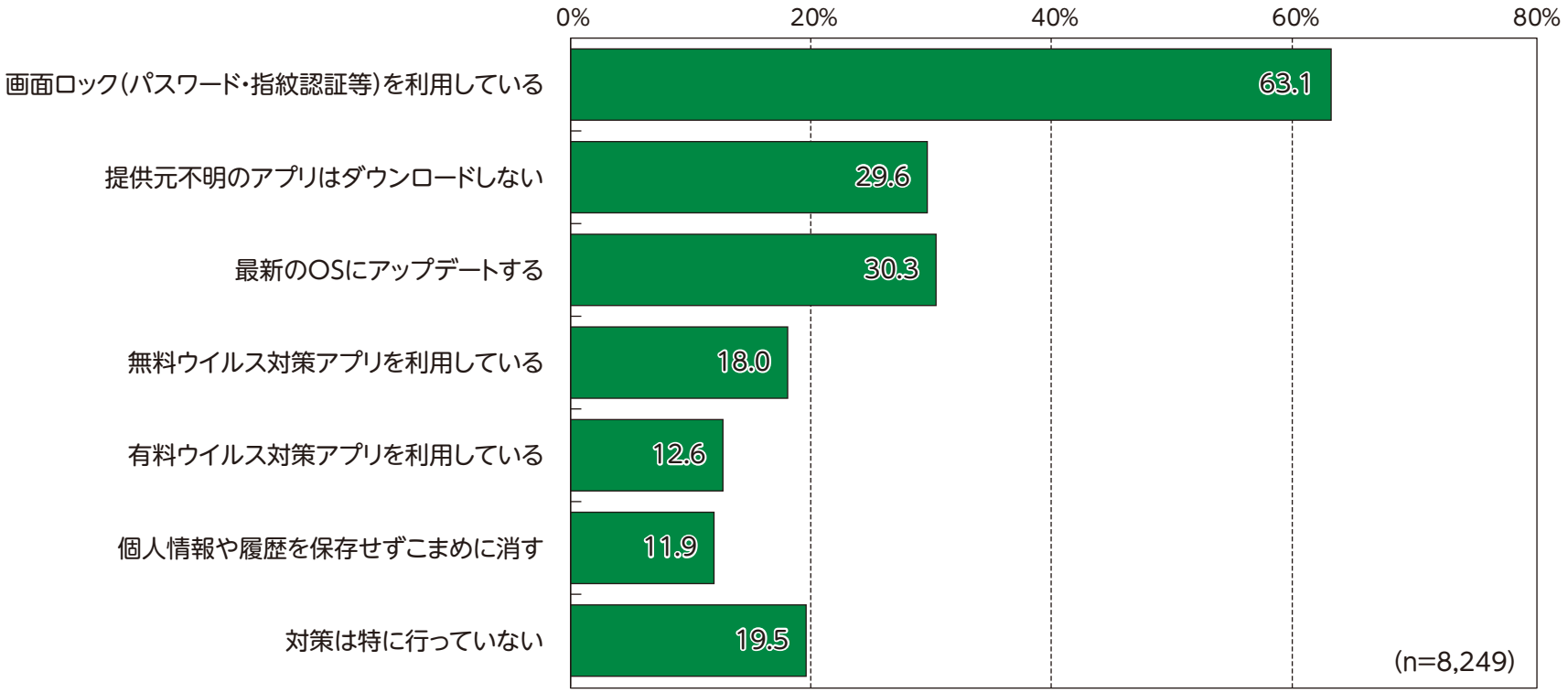
[資料4-8] 携帯電話へのセキュリティ対策[性年代別](複数回答) …… 61

[資料4-9] フィルタリング設定率の年次推移(単一回答) …… 62

4章2節
資料4-7

携帯電話へのセキュリティ対策(複数回答)

- 携帯電話のセキュリティ対策として，「画面ロック」が6割強で突出している。
- 一方，約2割の方がセキュリティ対策を行っていない。

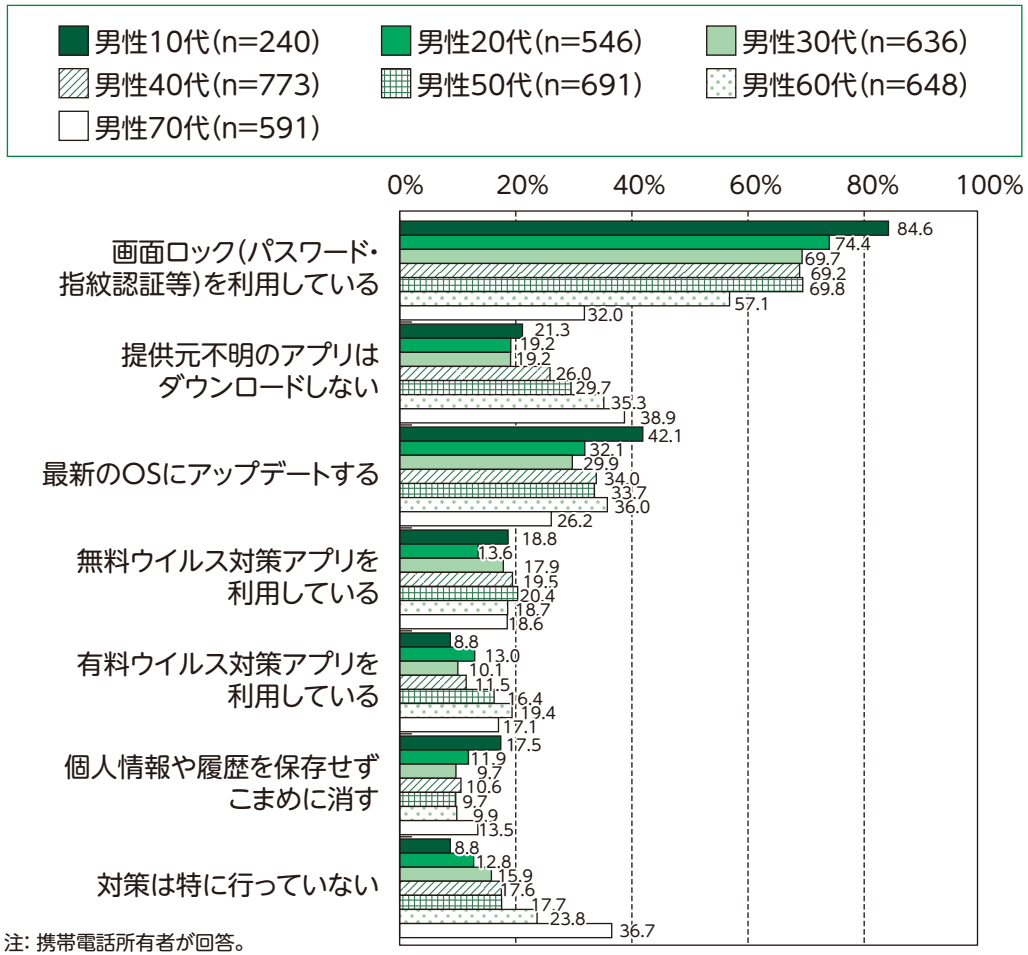


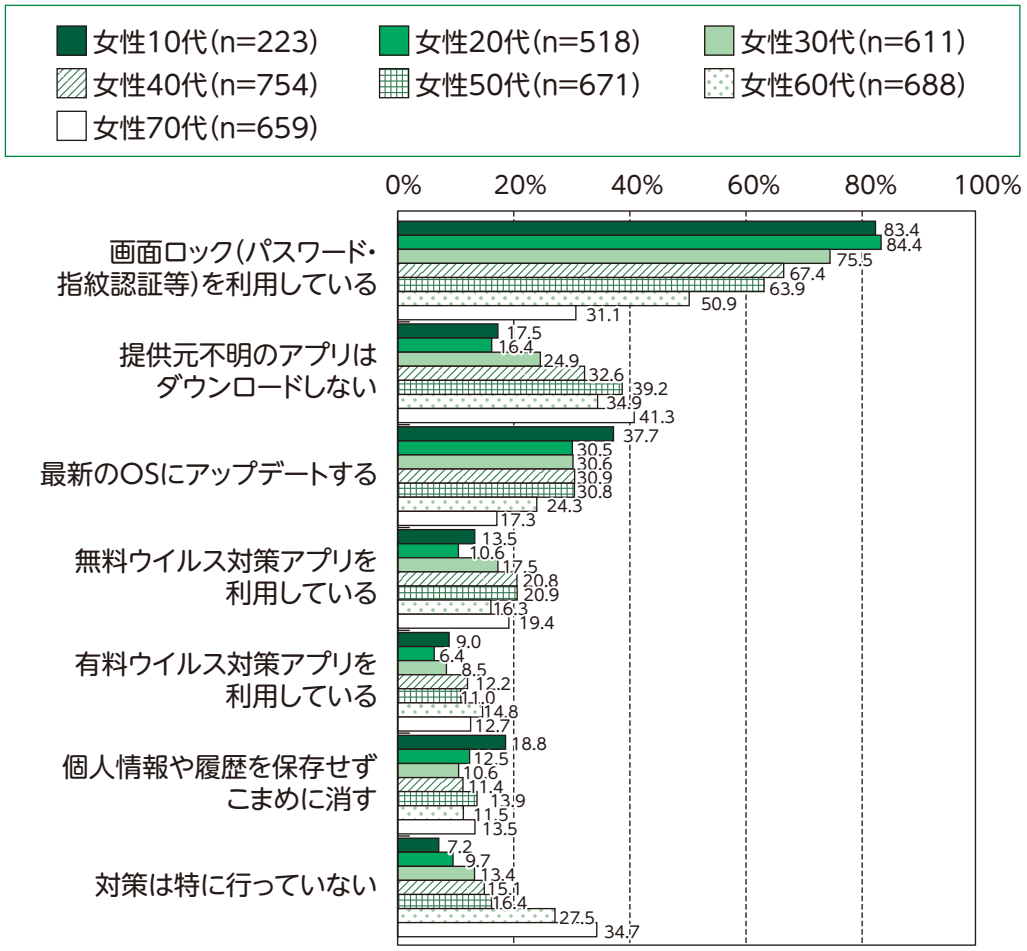
注: 携帯電話所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章2節
資料4-8

携帯電話へのセキュリティ対策[性年代別](複数回答)

● 男女ともに10～60代は「画面ロック」がトップ。70代では「提供元不明アプリをダウンロードしない」がトップ。



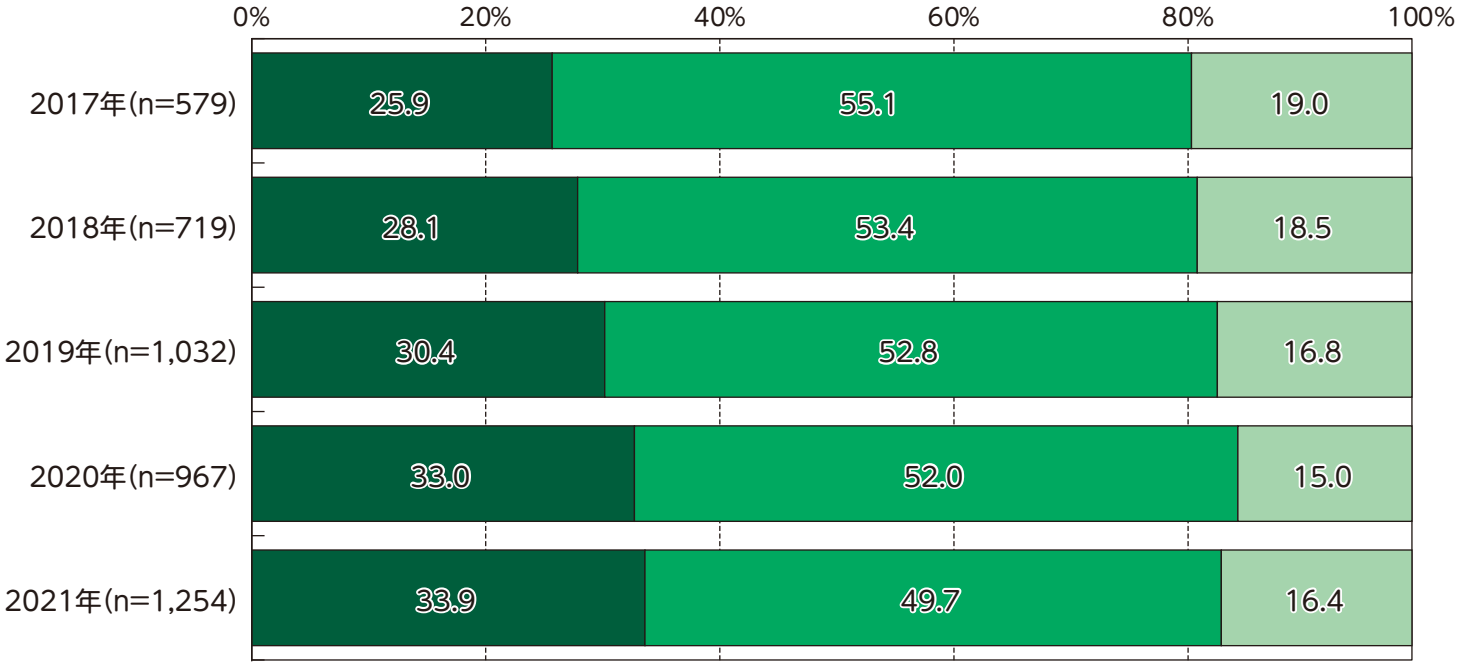


注: 携帯電話所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章2節
資料4-9

フィルタリング設定率の年次推移(単一回答)

● 18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率は，2017年からやや増加傾向であり2021年で33.9%まで伸長。



注: 携帯電話を所有している18歳未満の子どもと同居している保護者が対象。
出典: 2017年-2021年一般向けモバイル動向調査

4章 安心・安全

3節 災害への備え

モバイルバッテリー準備率，安否確認サービスの認知率

ポイント

- 非常用持ち出し袋や水・食糧などの備えは，年代が上がるに伴い増加の傾向。モバイルバッテリーは年代が上がるほど減少の傾向(資料4-11)。
- 年代が上がるに伴い，避難行動について対策をしている割合は高まる。20～30代で「避難所を知っている」とした割合は4～5割と低い(資料4-13)。
- 「災害用伝言ダイヤル」の認知率は6割強。東日本大震災後の2012年，全国的な気象災害のあった2017年の後に認知が拡大(資料4-14)。

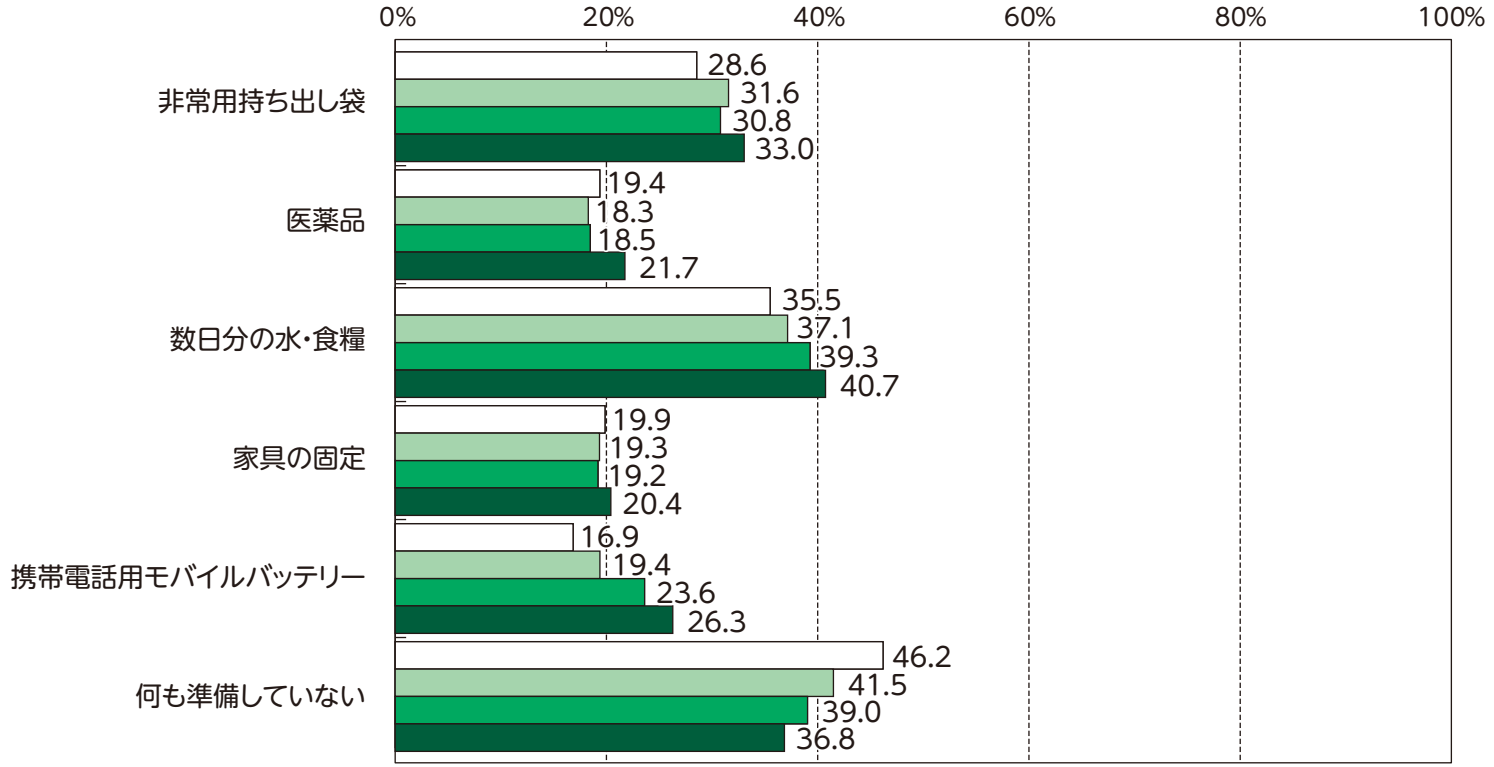
[資料4-10] 災害時の備えの年次推移(複数回答) …… 64
[資料4-11] 災害時の備え[性年代別](複数回答) …… 65
[資料4-12] 避難行動の認識の年次推移(複数回答) …… 66
[資料4-13] 避難行動の認識[年代別](複数回答) …… 67
[資料4-14] 災害時の安否確認サービスの認知率の年次推移 …… 68

4章3節

資料4-10

災害時の備えの年次推移(複数回答)

- 何も準備していない人は，2018年からやや減少し4割を下回る。
- 「携帯電話用モバイルバッテリー」の準備をしている人は，2018年から増加しており2021年は26.3%。

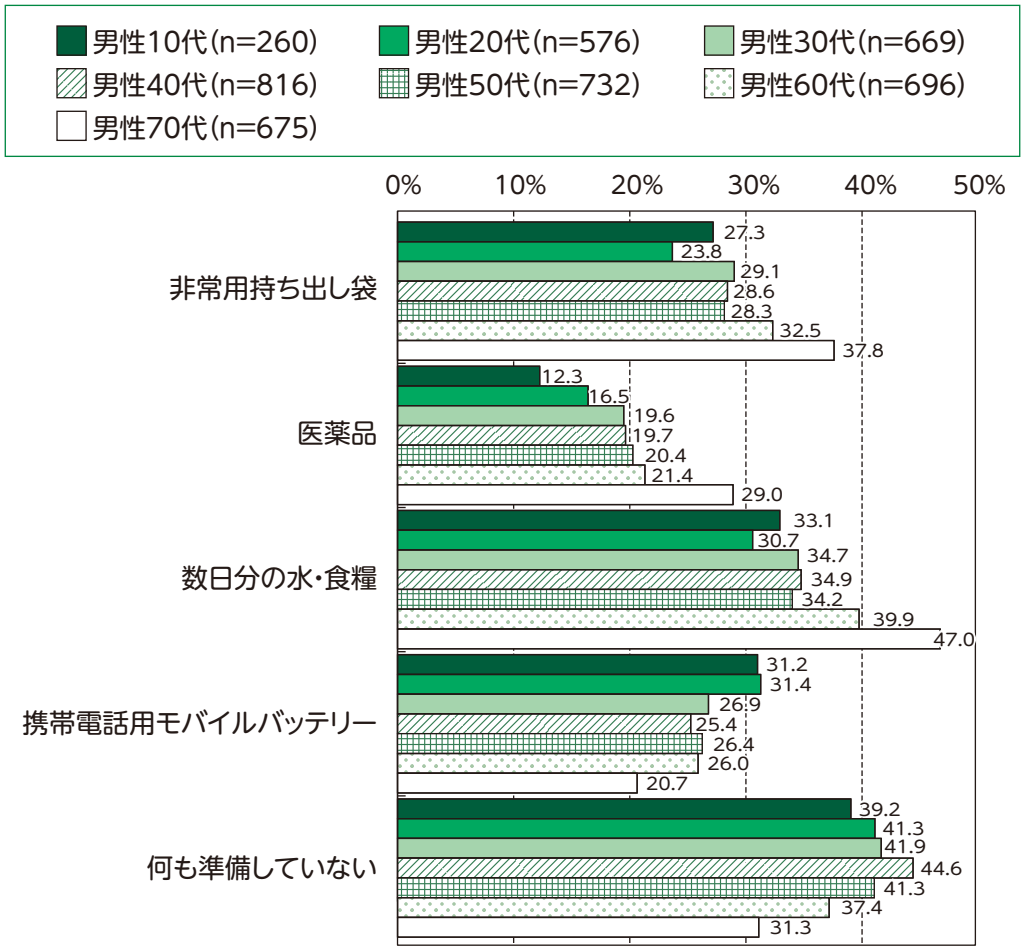


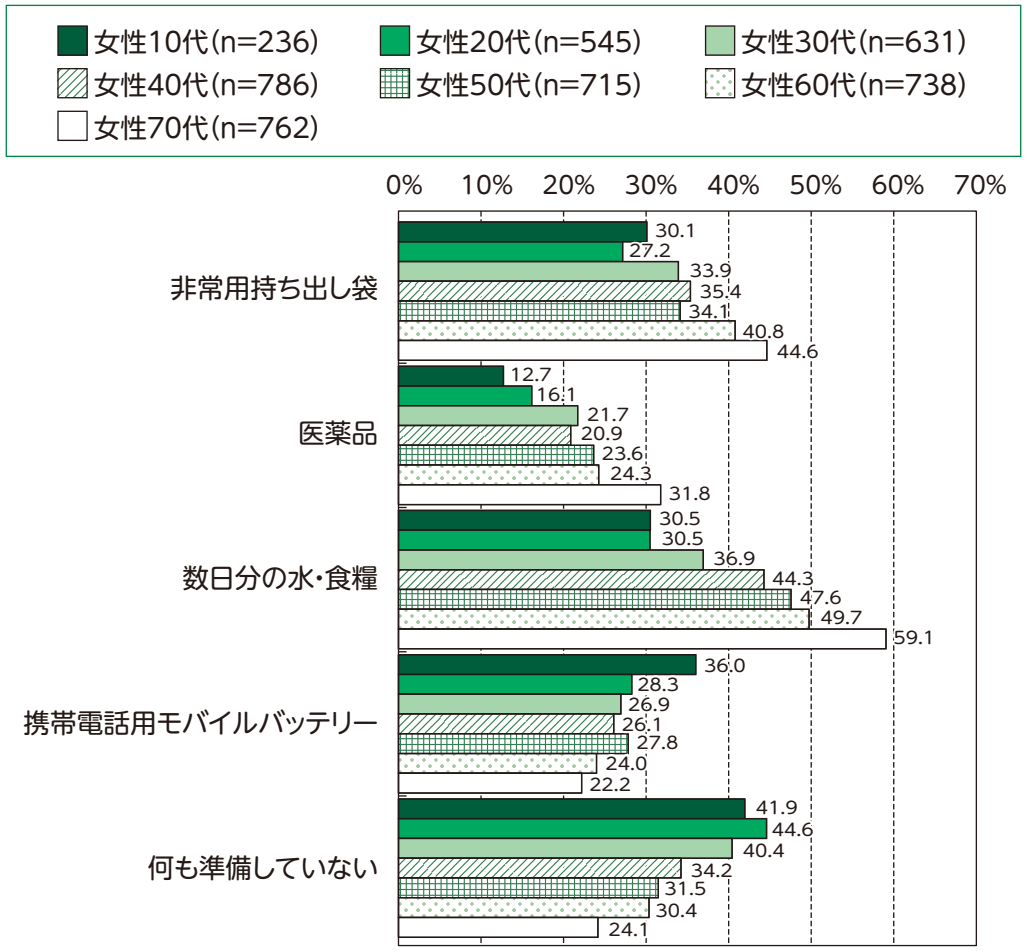
出典: 2018年-2021年一般向けモバイル動向調査

4章3節
資料4-11

災害時の備え[性年代別](複数回答)

- 年代が上がるに伴い，各種備えの割合は高まる様子。
- 一方，「携帯電話用モバイルバッテリー」は年代が上がるほど減少する様子。





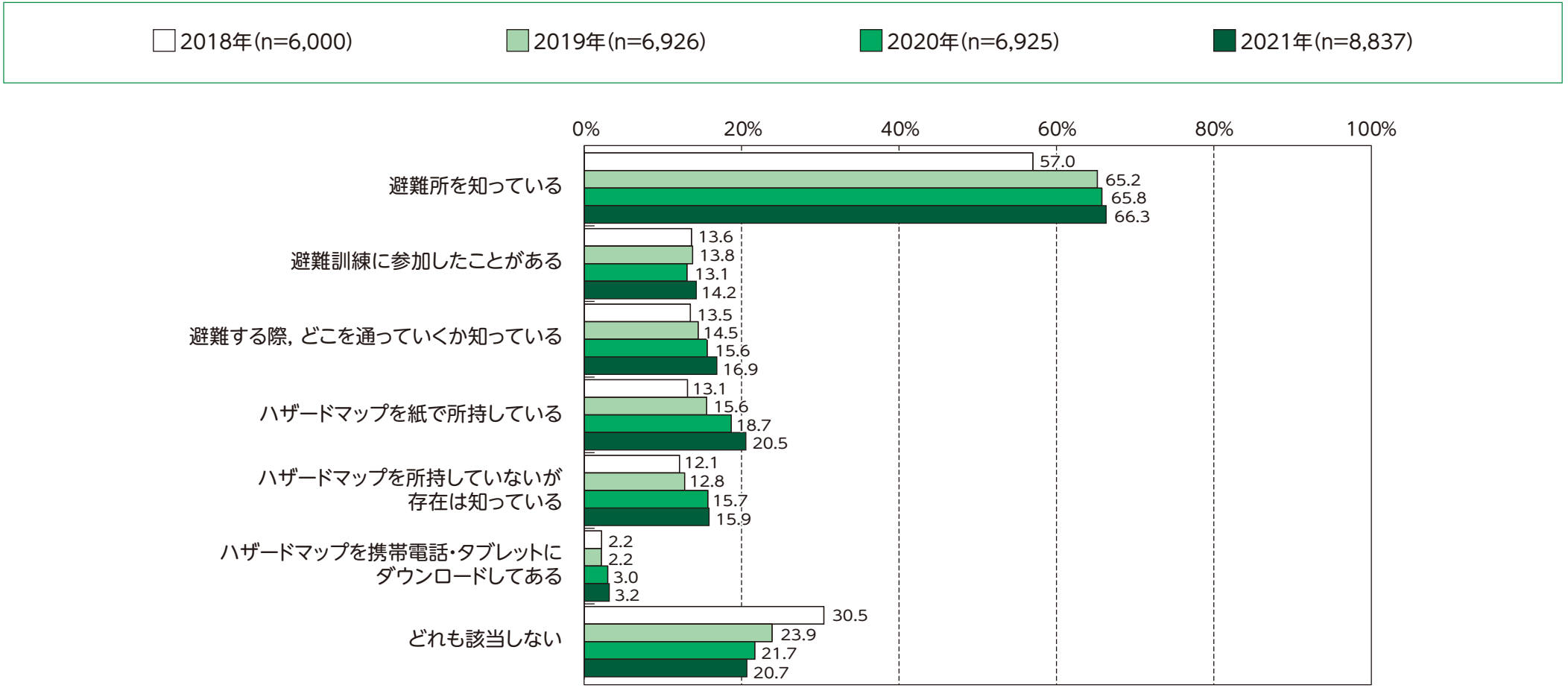
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章3節

資料4-12

避難行動の認識の年次推移(複数回答)

- 「避難所を知っている」が微増の6割半ばでトップ。
- 「避難訓練への参加」や,「避難経路の認知」は2割に満たず前年から横ばい。



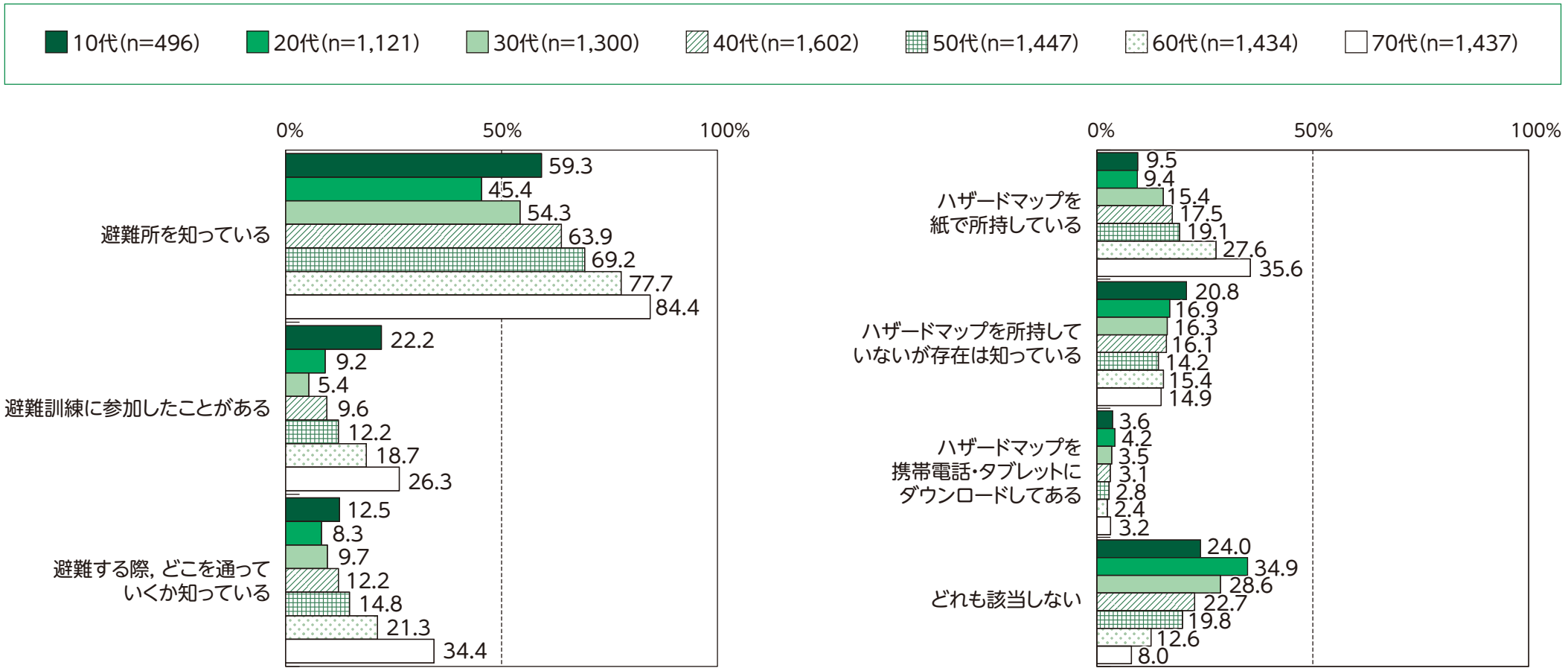
出典: 2018年-2021年一般向けモバイル動向調査

4章3節

資料4-13

避難行動の認識[年代別](複数回答)

- 年代が上がるに伴い，避難行動の対策をしている割合は高まる。
- 20～30代で「避難所を知っている」は4～5割台であり40代以上と比べると低い。
- 紙のハザードマップについても，年代が上がるにつれて所持率が高まる。



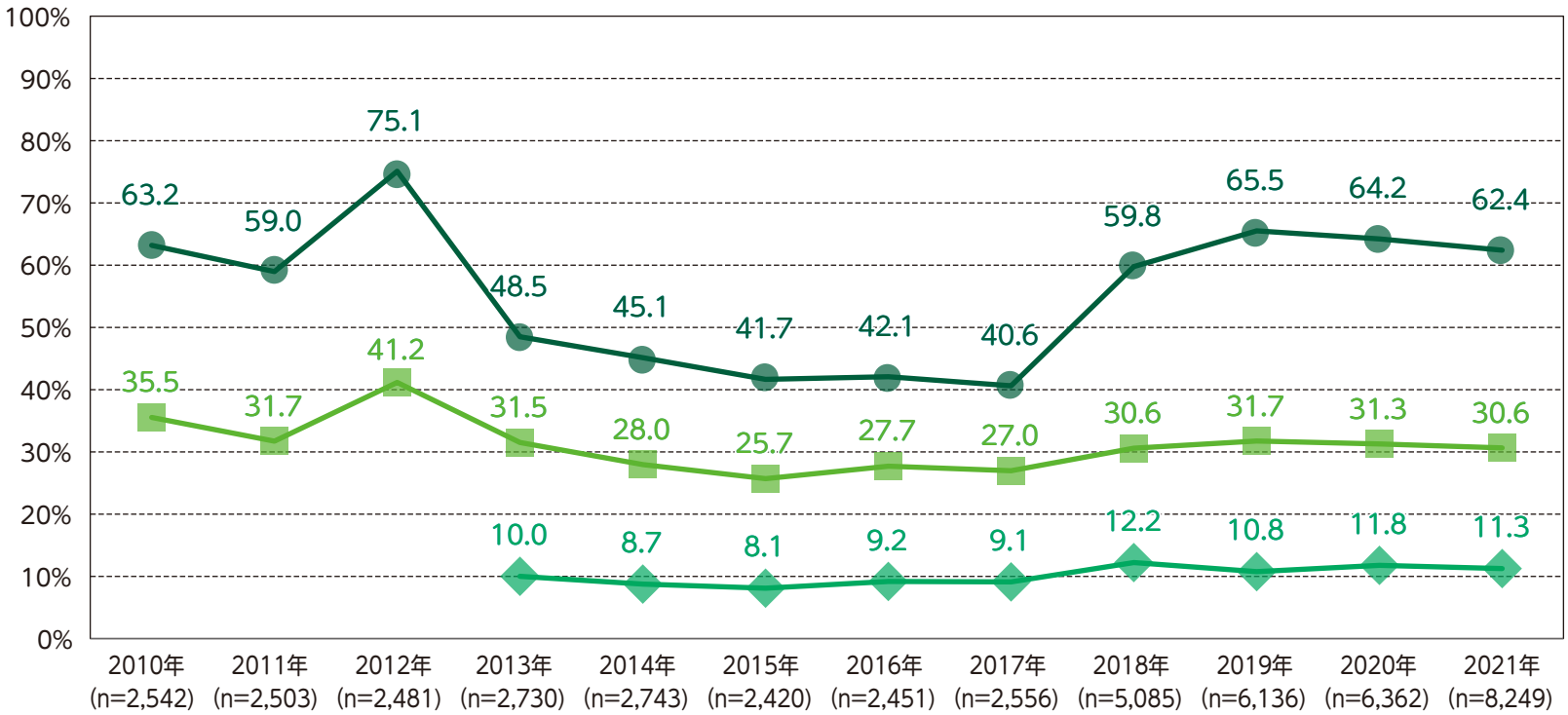
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査

4章3節

資料4-14

災害時の安否確認サービスの認知率の年次推移

- 「災害用伝言ダイヤル」の認知率は2021年では6割強で2019年から横ばい。東日本大震災後の2012年，全国的な気象災害のあった2017年の後に認知が拡大。
- 携帯電話の「災害用伝言板」「災害用音声お届けサービス」の認知率は2013年以降横ばい。



注: 携帯電話所有者が対象。
出典: 2010年-2021年一般向けモバイル動向調査